

2015年度

第9回 鹿児島県児童クラブ連絡協議会

新年度を控えての指導員・学童保育研修会



- 日 時 **2016(平成28)年3月13日(日) 10:30受付 11:00~16:00**
- 会 場 **鹿児島市「鹿児島県青少年会館大ホール」 (鹿児島市鴨池新町1番8号)**
- 受講料 **800円(資料代) *加盟クラブは、500円**
- 主 催 **鹿児島県児童クラブ連絡協議会 おおすみ学童保育の会 霧島市児童クラブ連絡会**
- 後 援 **薩摩川内市放課後児童クラブ連絡協議会**
- 日 程

10:30	11:00	12:30	13:30	16:00
受付	基調講演	昼食・休憩	研修講座・分科会	

□ 基調講演&研修講座 (分科会)

■基調講演	11:00~12:30
「子どもの発達と心理(幼児期・学童期) —保育・教育に活かすカウンセリング技法の理論と実践について—」	
講 師:熊谷 良子 (くまがや りょうこ)さん / (カウンセラー/メンタルケア心理士/保育士)	
子どもたちを深く理解することは、指導員の仕事にとって一番大切なことですが、見通しのある指導・援助をするために、子どもの心と体の発達を学びます。	
◆研修講座&分科会	13:30~15:50
1, 基礎講座	指導員の仕事と役割(毎日、年間の生活をどうつくるか) 【初任者 1~3年未満対象】
2, 実践講座	通信・クラブだより~日々の記録を基礎に~通信(クラブだより)を出す意味、なにをどう書くのか、書くうえで大切にしていること、配慮している点は? ※実際に通信(クラブだより)をつかって検討します。 【中堅者 3年以上対象】
3, 理論講座 (ワークショップ)	子どもの成長・発達とは—保育・教育に活かすカウンセリング技法の理論と実践 講師:熊谷良子さん/カウンセラー・保育士 宮崎市在住 ※小グループに分かれて、カウンセリングの実践を行います。
まとめ	【リーダー・主任クラス 5年以上対象】 15:50~16:00

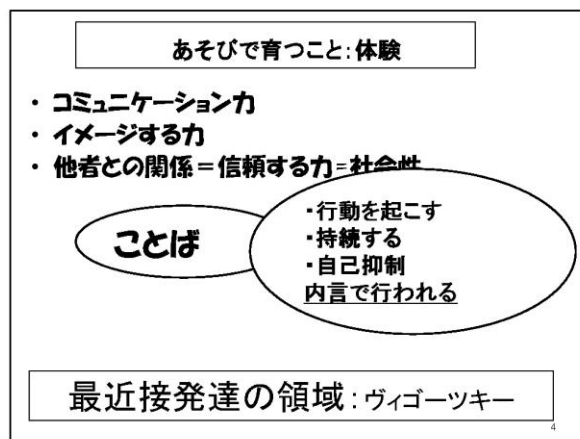
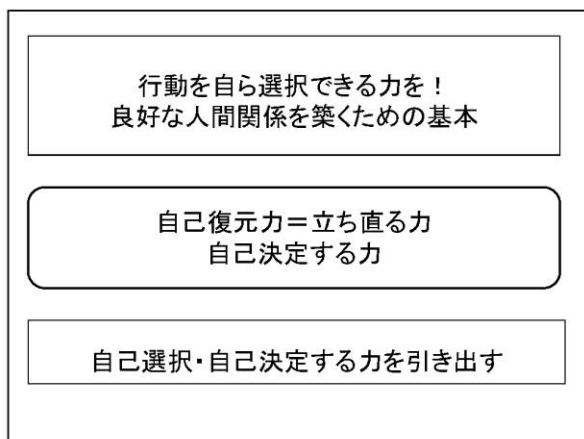
「子どもの発達と心理（幼児期・学童期） —保育・教育に活かすカウンセリング技法の理論と実践について—

講師：熊谷 良子（くまがや りょうこ）さん / カウンセラー / メンタルケア心理士 / 保育士
【プロフィール】

ピア・サポート・トレーナー、NPO 法人 チャイルドラインみやざき 理事・NPO 法人こども遊センター「良子さんのカウンセリングルーム」主宰。・研究テーマ：「乳幼児の発達と青年期の意識構造」「子ども時代の家族関係と対人関係形成の関連」「実母による乳幼児虐待についての考察—心理と構造」

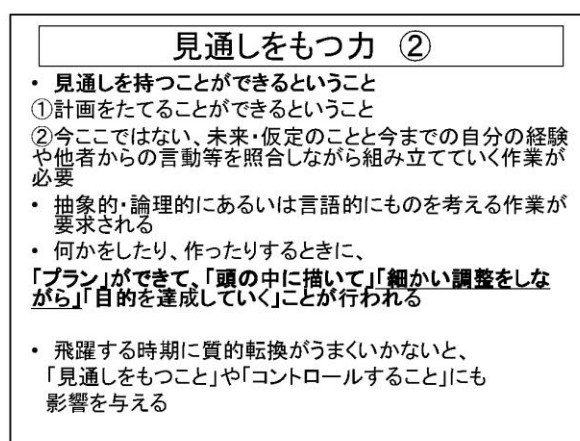
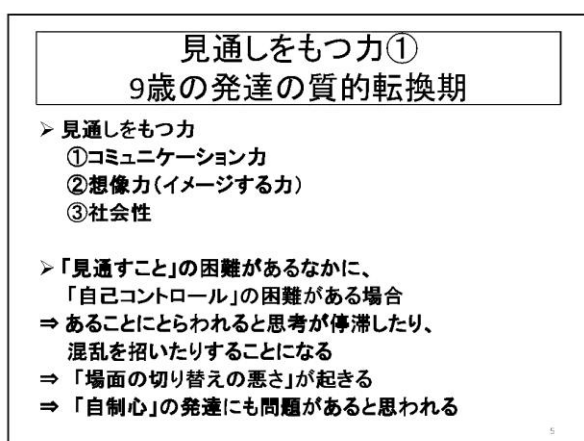
2016/3/15

<p>子どもの発達と心理 —保育・教育に活かす カウンセリング技法の理論と実践—</p>	<p>「リテラシー」と「コンピテンシー」</p> <p>◆OECD PISA(学習到達度調査)の結果が問いかけたもの 日本の子どもたちは ・「リテラシー」(思考力や分析力を使って対象を読み解いていく力)に課題があり、 ・「コンピテンシー」(実践的な能力、実際に使いこなせる力)が育成されていない</p> <p>◆活動が大切 ドリルでは本当の思考力は育たない 「活用力」や「実践力」を学校の授業という形態のみで達成できるのか？ 文化活動・自主活動・放課後の活動・社会参加活動</p> <p>・「知識・技能」 ・「思考力・判断力・表現力」 ・「主体性・多様性・協働性」 (高大接続改革実行プラン)</p>
--	--



2

2016/3/15



3

質的に変化する:9歳 ①
=勉強がわからなくなる=

- 学業不振がもたらす様々な「問題行動」
- 勉強がわからなくなる子

⇒勉強がおもしろなくなってくる
⇒学校がおもしろなくなってくる

・勉強は嫌いだけど学校は好き
⇒**できない自分への自信回復**
・勉強は好きだけど学校はきらい
⇒**対人関係への援助**

質的に変化する:9歳 ②
子どもから青年期・おとなへの出発の時期

◆「9歳の壁」というより、
「新たに発展していくための大切な節目」として捉える

- 内面世界が拡がるとき
- 自分を肯定的にみるのか、否定的にみるのか
- 友だち関係も微妙に変化してくる
- 「いやな友だちとも遊ばないといけない」
- 「仲間はずれにされるといやだ」
- 「障がいをもっている子どもへの対応の変化」
- 異質なものを受け入れる。異質なものを拒む。
- 人権教育の大切さ
- 表面的な道徳・倫理観の押し付けでは、人間的なものは育たない
- 比較する

⇒注意されると、その人に対して「〇〇さんはどうなの？」と逆襲

4

2016/3/15

質的に変化する:9歳
子どもから青年期・おとなへの出発の時期

9歳、10歳は飛躍の時期
しかし、つまづいてしまう危険性も
9歳の壁・10歳の壁:援助を求めている姿

成長している自分を自覚する機会を
かけがえのない値打ちをもって

<問題行動>
いじめ20万件時代
ネット使い最多8787件
毎日新聞(2014.10.16 20:52配信)

- 文部科学省が実施した2013年度の問題行動調査で。全国の国公立も小中高校、特別支援学校で認知されたいじめ件数
: 18万5860件

◆SNS(Social Networking Service) と
子どもたちのつながり

5

知るところから
 感じるところから
 理解は生まれます。
 理解が生まれれば、
 自分も相手も柔軟になれます。
 対等な関係がつけられます。

ニーズがつかめるでしょう。

なぜ？
 どうして？
 どうしていいかわからない

書く力：観察する力
 日々の実践こそが
 助けてくれる・高めてくれる
 記録・クラスだより・メモの重要性

- 書くこと・考えること・生きること
- クラスだより：伝達する
 考える
 振り返る
 共有する

■ことば：伝達手段であり、思考の源である。
 その二つが連携し合いながら、豊かになっていく。

■子どもの話しことば(外言)と書きことば(内言)の
 発達との関連

特別な社会的・教育的ニーズのある
 子ども・保護者
 : 多様な「困り感」に寄り添う

- 保護者の場合：
- 子どもの場合：
- 援助者の場合：

■メッセージを聴き取るちから

- ①問題行動
- ②発達要求
- ③援助を求めている・援助が必要
- ④自閉症スペクトラム・その他

自閉症スペクトラム

- 自閉症スペクトラムは、自閉症やそれによく似た特性をもつ発達障がいの一
 群のことをいう
- 自閉症スペクトラムは、程度によってあらわれる特性が大きく異なる。
 あらわれ方には差があり、その特性は分離しているのではなく連続している
 という捉え方
- 脳の機能のアンバランスさに基づくもの
 ⇒心の病気でもなければ、わがままでもなく、しつけ不足によって引き起こされる
 ものでもない
- 診断名は、その子の一部であってすべてではない
- 【大切なこと】:どのようなかかわり方をすると、
 その子が生きやすくなるかを考えること

<2013年5月DSM-5(DSM:アメリカ精神医学会)>

■重い自閉症からアスペルガー一症候群までが
 「自閉症スペクトラム」として一本化された

■診断に用いられる項目が多軸診断から以下の2つに絞られた

- ①社会的コミュニケーションの障がい
- ②限定した興味や反復行動

田中康雄監修2015『発達障害の子どもの心と行動がわかる本』西東社 引用作成

LDの3つの学習困難
 ①視知覚 ②聴知覚 ③中核的な困難に付随する困難
 EDGE『特別支援教育実践テキスト』2009引用作成

あめまけずかに
 もまけゆもにもなつのあ
 つさにまけぬじょうぶな
 からだをもちよくはななくけつ
 していからずいづもし
 ずかにわらつている
 いちにちげんま
 いよんこみそとすしのや
 さいをたべあらゆる
 ことをじぶんをかんじよ
 うにいれずよくみき
 きしわかり

<EDGE資料参照>
 6 59100

特性への配慮:視覚化
 口頭よりも絵や書き文字にして具体的に
 ユニバーサル・デザイン

音声よりも視覚的な世界
 音声の言葉は、
 記憶に残りにくい傾向

ワーキングメモリ
 作業記憶・作動記憶

カウンセリングとは
 平木典子『カウンセリングとは何か』まえがき 2004 朝日選書

- ・ カウンセリングは心理的な問題や悩み、症状などを解決するための援助方法と考えられているが、同時に心の健康を維持し、増進するための知恵を提供する。
- ・ カウンセリングは自己理解、他者理解、対人関係理解を深め、自分と人間一般の問題をより深く考え、問題を解決しようとする取り組み場でもある。
- ・ カウンセリングは、自分の限界を知り、自分らしさを受容しながら、なおも自分と人間一般の可能性を探って自律的な生き方をする道を開いてくれる。
- ・ それは、人々が違いを認め合いながら、相互受容的な生き方をする道でもある。
- ・ カウンセリングの中での心の問題への取り組みを知ることは、自分とうまくつき合いながら、精神的に健康で心豊かな生き方について考える手助けとなるだろう。

聴くこと

・ シンプルに 積極的に

傾聴

・ 語られていない物語も聴く＝沈黙を聴く
 ・ 音声言語(発声) : 非音声言語(身振り・表情)

3 : 7

<p>聴いていますか？ 訊いていますか？</p>	<p>傾聴 と 傾聴のための 質問力</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 「どうして？」と聞き返されることの困惑 • 説明したくてもできないこと 説明しきれないものもある ■ 「どうして忘れ物するの？」 ■ 「どうして勉強ができないんだ！」 ■ 「どうして変ろうとしないの？」 ■ 「どうして乱暴なことをするの？」 	

カウンセリングの基礎技法

1. 受容と共感
2. 繰り返し(言い換え)
3. 明確化
4. 支持 (指示はNG)
5. 質問:閉ざされた質問
開かれた質問

20

10

2016/3/15

開かれた質問・閉ざされた質問 (open question and closed question)	
<p>• 開かれた質問 (あなたのコメント)</p>	<p>• 閉ざされた質問</p> <p>「そのとき、 悲しかったの？」</p>

非指示的リード

- **非指示的リード**
- 「そのことについて、どんなことがあったか
お話ができるかな」
- 「それは、どういう意味でしょうか」
- 「たとえば、どういう場合でしょう。
そんな感じになるのは...」
- 「あなた自身は、そのことをどう思いましたか」
- 「今の気持ちは、どんな気持ちでしょうか」

22

11

コンプリメントしよう！

※コンプリメント(compliment)とは

- 肯定的、支持的に評価する、賛同する、敬意を表すること。気持ちをこめてほめること。
- ほめる・ねぎらう・認める・賞賛する・支持する
勇気づけるなどして、相手を元気づけ、
相手をエンパワメントすること

※エンパワメント(Empowerment)とは：

■コンプリメント(compliment)

肯定的、支持的に評価する、賛同する、
敬意を表すること、気持ちをこめてほめること

☆子ども

「友だちのことずっとシカトしていたら、その子が学校に
来なくなった。

本当はその友だちから借りたゲームを失くしてしまったか
ら、ゲーム返してって、言われるのがいやだったから…」

あなたのコメント ♡コンプリメント

12

2016/3/15

理由が言える力・自己決定する力

- ・ 危ないといって取り上げてしまう
 - ・ 罰として取り上げてしまう・罰として何かをさせる
1. してほしくない行為・行動を繰り返す
 2. 注意しても、次々に問題を起こす
 3. 「問題行動」も巧妙化・悪質化していく
 4. 注意や指導も厳しくなる
 5. 態度はどんどん“ふてぶてくなる”
- ⇒行為・行動だけを追いかけていないか？
⇒親をなめている・教師に反抗しているという
否定的なメッセージを受け取っていないか？
- ※「悪いこと」と「悪い子」
～否定からは乗り越える力は湧かない

肯定的な表現を身につけよう

リフレーミング

マイナス表現⇒プラス表現

- ・ 外遊びはとっても好きですけど、
みんなと遊ぶ、ルール遊びは
嫌いな子どもです。
- ⇒言い換えてみましょう

プラス表現を
すると焦点化・
明確化できる

13

支配されない生き方:アドラー

- 「人は感情に抗えない存在である」
⇒われわれは感情に支配されて動くのではありません。

人は感情に支配されない

人は過去にも支配されない

自己選択し、 自己決定できるためには 自己肯定感を！

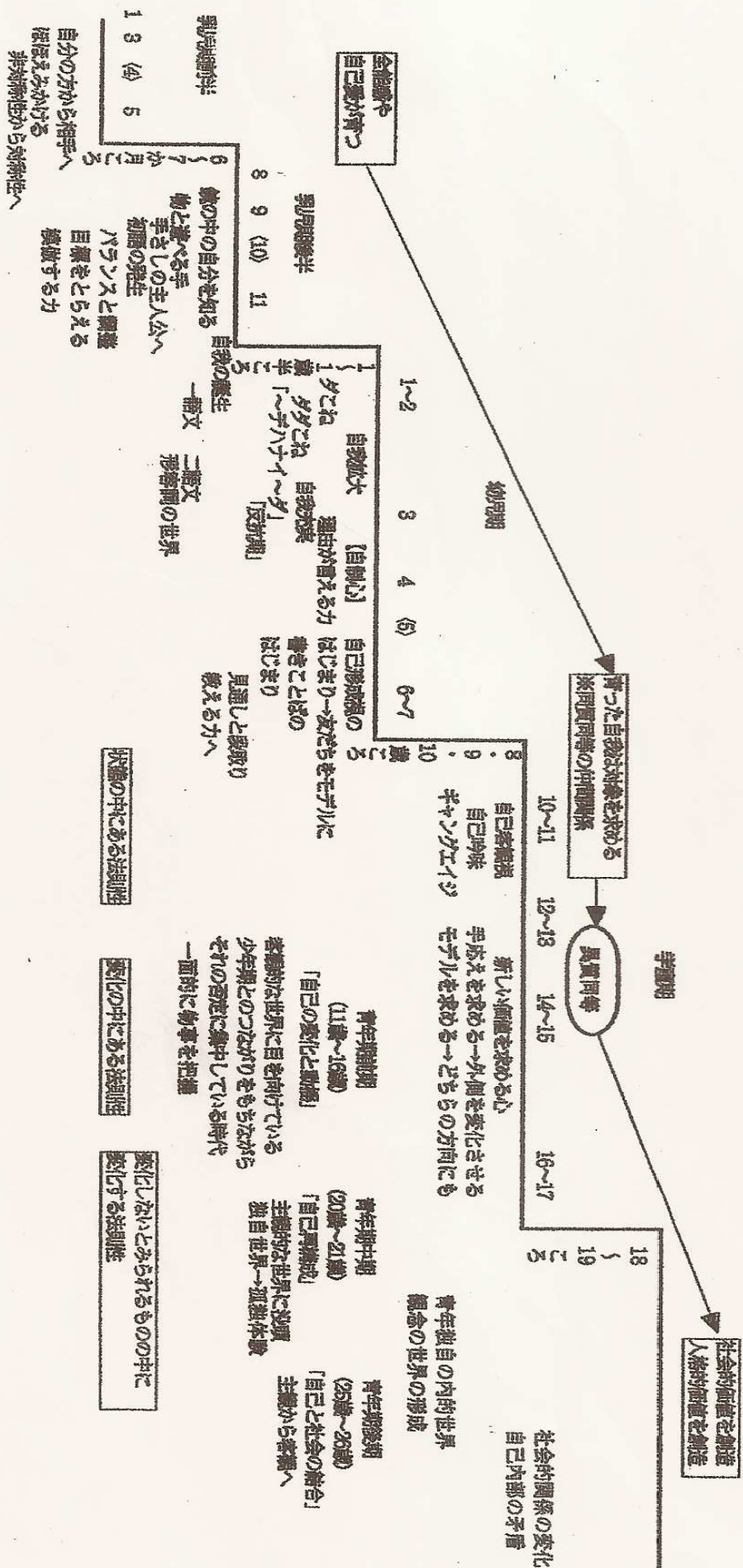
- ☆子どもだけでなく、大人にも
たくさんの人の支えが必要。関わりが大切。
- ☆問題が起きたときこそ、
「人間力」「おとな力」を！
- ☆「自分を変えるには」「子どもに変わってもらうには」
「時間がかかる」という言い方から
「時間をかける」という考え方に
- ☆変わることが必要ならば、
時間をかけて変わっていきましょう。一緒に！

幼児期に始まる3つの発達段階と生後第3の新しい発達の力の生成
田中昌人

階層：幼児期から学童期	全身の運動	話しことば 書き言葉	対人関係と情動	対応が望まれている年齢
第1の段階 1次元可逆操作	視点を軸に方向転換する	一語文 往復線の展開	自己復元力 自我形成	1歳半ごろ
2次元形成期	片足をあげる つま先歩き かかと歩き	2語文 絵の発生	「第1反抗期」 自我の充実	2歳半ごろ
第2の段階 2次元可逆操作	ケンケンをして 前進をする	理由を言う 絵の展開	自制心	4歳ごろ
新しい発達の力の誕生	縄跳びをする	文脈の発展 書き言葉始まり	自己形成視の 芽ばえ	5歳半ごろ
第3段階 3次元可逆操作	支点を中心に 空中で重心を移す	3次元を説明 話す・書く・読む の対応	見通しと段取り	6, 7歳ごろ
階層への移行 (学童期後半)		保存の説明 可逆対保存	自己客観視と 自己吟味	8, 9, 10歳ごろ

乳幼児の発達と青年期の意識構造

熊谷 良子



<参考文献：『子どもの発達と診断』1-5 田中昌人 大月書店>

◆研修講座&分科会

1. 基礎講座 指導員の仕事と役割（毎日、年間の生活をどうつくるか）

戸床 珠美さん／高山児童クラブ 指導員

はじめに

◎テキスト『学童保育指導員の仕事』84 ページ

子どもたちは、5時間、6時間授業に加え、習い事や塾などに追われて、バタバタとしたゆとりのないスケジュールをこなしています。

そんな日常の中で、私たちがいかに生活の場を作り、「もっと遊びたい」と思える学童を目指して一緒に考えていきたいと思います。

1. 生活づくりについて

◎テキスト『学童保育指導員の仕事』56 ページ

- ① 学校から帰ってからの時間、ゆとりのある生活内容になっているか。
- ② 生活の流れが把握できているか。
- ③ 設定されたものでなく、個々の自由時間が確保されているか。
- ④ 個人と集団での時間が理解できているか。
- ⑤ 子どものスケジュール、学校、地域の行事に対応できているか。
- ⑥ 保護者が学童での生活の流れを理解しているか。

2. 生活における大切な活動

◎テキスト『学童保育指導員の仕事』50 ページ

- ・ 文化的活動（行事・制作・読み聞かせなど）
- ・ 生活活動（当番・おやつ・掃除など）
- ・ 基本的な生活習慣
- ・ 集団における約束ごと
- ・ 学習
- ・ 自由な遊び

3. あそびについて

- ① 指導員も一緒にあそぶ？
 - ・ 一緒にあそびながら子どもの日常の表情の違いに気づく
 - ・ あそびの中で見せる男気？ それとも……

4. 指導員としての配慮と働きかけ

- ・ 遊び場所、道具の点検などの安全管理
 - 遊具の場所
 - 取り扱いのルール
- ・ 自発的にあそべるようサポート
 - 指導員も一緒に遊ぶ（子どもと指導員の関係性）
 - あそびの提供

- ・トラブルが起きたときのサポート
 - 頼られる存在
 - 子ども自身が考え、話し合う機会を作る
 - 感情が抑えられない子どもへの対応（その子に合った）

- ・子ども同士の間関係を理解し、その子の発達を理解する
 - 一人ひとりの発達状況の把握
 - いろいろな遊びに参加できるようにサポートする
 - 強引にならないように

- ・主体的に遊べるようになったら見守る

5. グループ討議

2. 実践講座 通信・クラブだより～日々の記録を基礎に～

通信(クラブだより)を出す意味、なにをどう書くのか、書くうえで大切にしていること、配慮している点は?

田間美沙緒さん/霧島市・指導員

■運営指針に位置づけられ明記された放課後児童支援員(指導員)に必要な仕事

- 子どもが現在(いま)を幸せに生活し、未来(あす)を生きる力を育てる保育の仕事に誇りと責任をもち職場における倫理を遵守して、自らの人間性と専門知識や技術の習得・向上、ならびに職場倫理の維持・向上に努め、一人ひとりの子どもを心から尊重します。

【通信(クラブだより)を出す意味と、どう伝え、書くか】

- 児童クラブでの子ども様子を日常的に保護者に伝え、家庭と連携して育成支援を行う。
 1. 書き続け、読み返すことで自分の保育の振り返りや仕事の点検となるように、日々の保育記録とともに。
 2. 書くときにより大切なのは働きながら子育てをしている保護者を『子どもの姿を伝える』ことで励ますという視点と内容に心がける。
 3. 子ども・保護者の人権、プライバシーへの十分な配慮を。
- 実践記録の目的は、指導員自身が実践を省察することで、自らの実践力を高めることを目的としています。通信(クラブだより)をつかって、日々の実践記録のあり方や通信の紙面づくりの工夫やヒントの交流の場づくり。

「放課後児童クラブ運営指針(厚生労働省 2015年3月31日)」 第3章1-(4)-⑨ 4-(1) 5-(1)

別紙

1. 毎日の記録

- 保育日誌は、子どもについての記録(指導員間でのみ共有)
- 保育日誌は、行事・おやつ等の記録

①保育日誌

- 子どもの姿が思い描けるように書く → 事実を共有し合う
- 指導員がどう関わったか
- 関連性がある事からについては、前回の記録の日付も記入
- ちょっとした子どものつぶやきや、日常のひとコマも
- 子どもだけでなく保護者からの相談等も記入



時々、4月もしくはもっとさかのぼって読み返すことで
こどもの姿、変化が良く理解できる ⇒ 次ぎにつながる記録

②業務日誌

- おやつの内容や帰りの会での読み聞かせの絵本の題名
- インフルエンザや病欠のこの記録
- 行事計画を立てる時の参考

2. 通信(クラブだより)を出す意味

◆伝えることは指導員の仕事

- 放課後児童クラブ(学童保育)の役割に照らして → 学童保育での性格、子どもの様子を伝え、保護者が安心して働けるように

3. 通信・クラブだよりになにをどう書くのか

なにを

- ◆毎日の生活のなかでのひとコマ、子ども(子ども同士)の姿やかかわり
おもわず笑ってしまうこと、「？」首をかしげること、助け合ったり手をかしたりしている場面、子どもの成長を実感したできごと、ケンカやめごとのてん末など

- ◆指導員の子どもへの思いや見方・とらえかた
どの場面を切りとるか、なにをとり上げるか、指導員がどう考え関わったかで伝わる
- ◆様々な活動の予定や内容の紹介・過程・報告も必要
特に行事のとりくみなど、子どもたちの様子を通して伝える～保護者の理解や協力が得やすい 子どもと保護者、保護者同士の共通の話題や楽しみになったりする

どう

- ◆事実を具体的に（会話・つぶやき・動き・しぐさ・表情を交えて）
学童保育は毎日、毎日同じ子どもたちが、一定の流れのなかで生活をおくる場→ただ漫然と見ているは見えてこない、気づかない。振り返って子どもや場面を掘り起こす作業→日々の記録
- ◆難しい言葉や字は避けて、やさしい表現で読みやすい紙面を心がける
字ばかりがギッシリでは読む側も疲れる レイアウトやカットなどを工夫する
- ◆なにより大切なのは働きながら子育てをしている保護者を『子どもの姿を伝える』ことで励ますという視点と内容で書かれているか

4, 通信（クラブだより）を書くうえで大切にしていること、配慮している点

- ◆子ども・保護者の人権、プライバシーへの十分な配慮を
 - 通信（クラブだより）は活字になり、いったん発行されるとみんなに一斉に読まれる 子どもも読むことも心に留めて

伝える手段は通信（クラブだより）だけではない、顔をあわせて直接話した方がいいこともある

5, 実際に通信（クラブだより）をつかって検討

参加者のみなさんもぜひ意見を
紙面づくりの工夫やヒントの交流も

第3章1－（4）－⑨

⑨ 放課後児童クラブでの子どもの様子を日常的に保護者に伝え、家庭と連携して育成支援を行う。

- 放課後児童クラブにおける子どもの様子を日常的に保護者に伝える。
- 子どもに関する情報を家庭と放課後児童クラブで共有することにより、保護者が安心して子育てと仕事等を両立できるように支援する。

第3章4－（1）

（1）保護者との連絡

- 子どもの出欠席についてあらかじめ保護者からの連絡を確認しておく。
- 放課後児童クラブにおける子どもの遊びや生活の様子を日常的に保護者に伝え、子どもの状況について家庭と放課後児童クラブで情報を共有する。
- 保護者への連絡については、連絡帳を効果的に活用することが必要である。その他、保護者の迎えの際の直接の連絡、通信、保護者会、個人面談等の様々な方法を有効に活用する。

第3章5－（1）

（1）育成支援に含まれる職務内容

放課後児童クラブにおける育成支援に係る職務内容には、次の事項が含まれる。

- 子どもが放課後児童クラブでの生活に見通しを持てるように、育成支援の目標や計画を作成し、保護者と挙通の理解を得られるようにする。
- 日々の子どもの様子や育成支援の内容を記録する。
- 職場内で情報を共有し事例検討を行って、育成支援の内容の充実、改善に努める。
- 通信や保護者会等を通して、放課後児童クラブでの様子や育成支援に当たって必要な事項を、定期的かつ同時に全ての家庭に伝える。

3. 理論講座 子どもの成長・発達とは (ワークショップ) 一保育・教育に活かすカウンセリング技法の理論と実践

講師：熊谷 良子（くまがい りょうこ）さん／宮崎カウンセリング&リカバリールーム

【プロフィール】

- ※カウンセラー ※メンタルケア心理士 ※保育士 ※ピア・サポート・トレーナー
- ・「宮崎カウンセリング&リカバリールーム」を1997年に開設
 - 不登校・ひきこもり、思春期青年期問題、依存症、摂食障がい、家族・地域・職場での人間関係などのカウンセリングに従事
- ・ひきこもり・不登校の人たちの集いの場「Do-Be」主宰 1997年～2005年
- ・研究テーマ：「乳幼児の発達と青年期の意識構造」
 - 「子ども時代の家族関係と対人関係形成の関連」
 - 「実母による乳幼児虐待についての考察—心理と構造」

2016/3/15

<div data-bbox="231 1160 742 1317" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"><h2>実践編 カウンセリング技法の活用</h2></div> <p data-bbox="316 1377 710 1444" style="text-align: center;">宮崎カウンセリング&リカバリールーム 熊谷 良子</p>	<div data-bbox="842 1099 1369 1160" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><h3>何かしらのメッセージを 伝えようとしている</h3></div> <ul data-bbox="837 1176 1300 1496" style="list-style-type: none">・ 生理的な不快感 : 体調の問題や疲労・空腹・睡眠不足・ 感情をうまく表現できずに、行動化 : 怒り・悲しさ・恐怖・不安・失望・ 困って助けを求めている : 「自分には難しすぎる」「うまくできない」 「どうしたらいいかわからない」・ 変化に対して、戸惑いや苛立ち、怯えを示している : 「以前と同じがいい」「今やっていることをやり続けたい」 「次にどうなるのかわからないので不安」・ 物や愛情、関心を手に入れたいと思っているのに、 うまく伝えられずに、暴走している : 「甘えたいけど甘えられない」 「一緒に遊びたいけど、それをうまく言えない」
--	--

ことば

語彙の豊かさが関係を深める

寄り添う言葉をもっていますか

表現したいことを表現できる
言葉が蓄えられていますか

気持ちに焦点づけた聴き方
感情を表す言葉

<ul style="list-style-type: none"> 喜びを表す言葉 (ポジティブ) 	<ul style="list-style-type: none"> 悲しさや不調を表す言葉 (ネガティブ)
---	---

2

2016/3/15

気持ちに寄り添う＝感情理解
「どんな きもち？」
感情のマップをつくろう！

<感情(きもち)を表すことば>

怒り

「この子は、すぐ怒る子です」
この子の「怒り」を言語化してください。
同じことばでも「内容」が異なる

- 登園してすぐに、大声で泣きだし、
クツを投げて、怒りを爆発させた。
- 「いただきます」の後に、急にお皿ごと投げて、
怒りだした。
- 手洗いをしている子どもの後ろから押し飛ばして、
急に怒り出した。

3

事例1:物を投げるので困ります①

■投げる行為の何が問題とかがえているのか？

- ・投げる行為への注意ですか？
- ・投げているモノがふさわしくないことへの注意ですか？
- ・投げている場所についての注意ですか？

■視点を変えてみましょう

☆「投げてはダメよ」
⇒「ここに投げてごらん」
:ボールと箱を用意して
⇒注意するだけではなく、
取り上げるだけではなく
新しいあそびにつなげていく

事例1:物を投げるので困ります②

★注意をするとき
伝えたいことと 声と表情は一致していますか？

- ①子どものしたかったことは？
- ②投げてはいけないものと 投げて遊ぶものがある
- ③同じものでも投げる時と投げない時がある
- ④今しているあそび(点)を
線にするには？面にするには？
- ⑤「投げたい」要求～投げる身体能力
- ⑥他の子どもとのつながりをつくる。
大人がどうつなぐ役割をすればいいか？

=====

- ◆2歳児への対応
- 4歳児への対応
- 5歳児への対応
- ▲学童への対応

「発達要求」と「問題行動」
—「問題」の中にある要求・欲求

- ・ 危険、困ると言って取り上げてしまうと、
いつ、使えるようになるのでしょうか？
⇒どんな工夫があれば、使えるようになるでしょう。
- ・ すぐに取り上げたモノに代わる投げるものが見つかる ⇒また取り上げる～いたちごっこ
- ・ 「発達要求」と「問題行動」
～問題ばかりが見えていませんか？
- ・ 「投げたい欲求」⇒次の“あそび”に仕掛ける
- ・ おとなの関わりとしての役割が求められている

こころとからだ
人間関係
自分自身のこと
職場環境のこと

こころとからだ 気をつけること

- ①バーン・アウト(もえつき症候群)
- ②アディクション(依存症)
- ③心身の疾患(うつ病、不安症.....)

「もえつき」バーンアウト症候群とは

- ・ 全力でがんばってきたのに、気力が尽きそうになる
- ・ 自分は、いったい何をやってきたのだろう...
- ・ この空しさや不安全感は、なんだろう
- ・ がんばっても、がんばっても、達成感が得られない
- ・ 疲れているのに、休むことができない
- ・ いつも人の面倒ばかりみてきた...
- ・ もうがんばれないけど、がんばる自分をやめられない
- ・ 消耗している自分の心と身体を感じている

12

6

2016/3/15

メンタルヘルス 生きること・学ぶこと・働くこと

- ・ 頑張っているのにうまくいかない。
 - ・ やっても、やってもうまくいかない。
 - ・ 私も傷ついている。私も疲れている。私も困っている。
 - ・ 家族の問題や困りごとを抱えている。
- ⇒自分の抱えている問題や課題を大事にする。

⇒子どもにとって理解しやすいコミュニケーションや関係を築いていくためには、できるだけ自分の荷物を軽くできる方法を探す。

- ・ 身体や気持ちが悪くない時がある。疲労感や無力感を感じる。
- ・ 抑うつ状態は、意欲の問題であると同時に認知(考え方や感じ方)の問題でもある

⇒自分の問題を優先する。
自分を世話する、援助することを大切にする。

自己肯定感 / 自己信頼・他者信頼

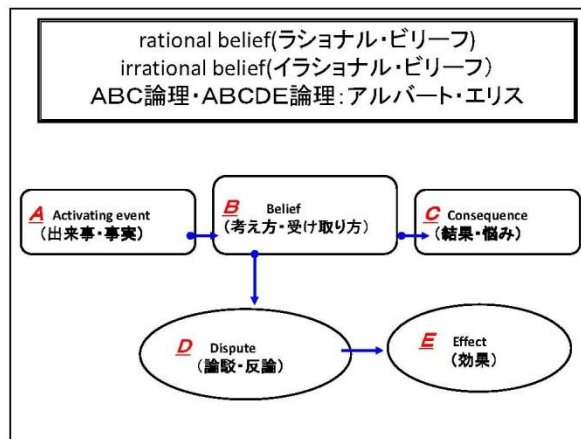
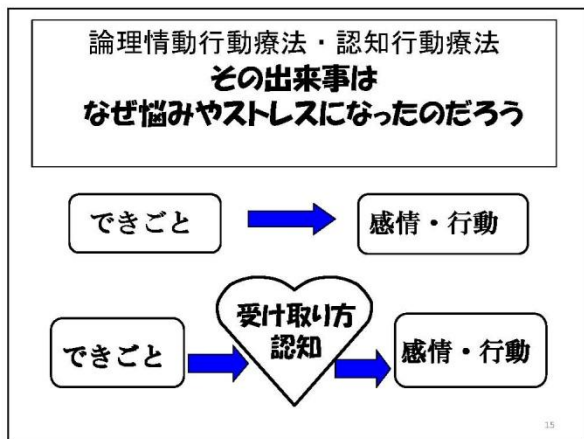
自信がないとき —その時の心境・態度—

- ・ 自分はどのような心境に陥るのだろうか？
- ・ 自分のクセや傾向を知ること
- ・ なぜ、自分はそのような気持ちになるのか
- ・ なぜ、自分はそのような態度を取ってしまうのか
- ・ 自信がないとき、怒りを内包していないか？
- ・ 怒りは、他者への攻撃性である
- ・ 自分は、何を伝えたいのだろうか？
- ・ みんなはできている。自分だけがダメだ

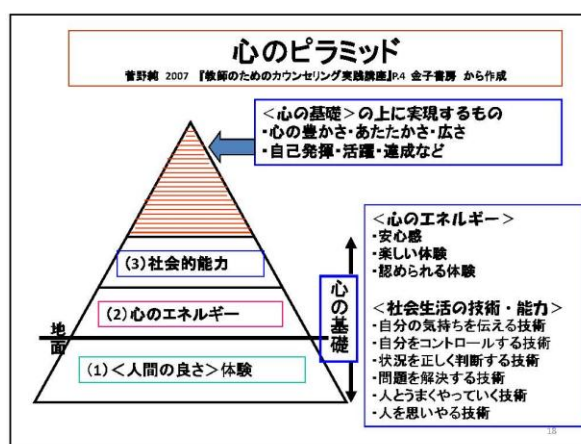
⇒ **比較**

14

7



マズロー欲求5段階説
人間の良さ体験：菅野純
ここにいていい所属感
：アドラー



具体的に伝える
肯定的な表現
マイナス表現⇒プラス表現

声かけの具体例
『障害臨床学』ナカニシヤ出版

望ましくない声かけ	望ましい声かけ
<ul style="list-style-type: none"> • 開けっ放しにするな • 走るな • きれいにしてね • ちゃんとかたづけ • 今日は誰とどんな遊びをしてきたの？ • そこに座って • 左側は歩いてはだめ 	

リフレーミング
 否定・命令・指示⇒肯定語に

<ul style="list-style-type: none"> ➤ お部屋出ちゃダメよ ⇒「 」 ➤ ご飯食べないとダメよ ⇒「 」 ➤ 全部食べないとダメよ ⇒「 」 ➤ 早く寝ないとダメよ ⇒「 」 ➤ 勉強(宿題)しないとダメよ ⇒「 」 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> はやくしなさい! さっさとしなさい! ちゃんとしなさい! ! </div>
---	--

早くしなさい! やめなさい!
 何回言っても繰り返す⇒なぜ?
何をしたいのかわからない

<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> やめなさい! ↓ ○○しようね </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> どうしたの?なんで? ↓ ○○したの? ○○したかったんだね ○○できるとよかったね </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 具体的に 肯定的に 短いフレーズで 注意と要求(課題) が混ざっていませんか? </div>
---	--

マイナスの表現⇒プラスの表現

「字はすらすら書けるのですが、
まだ、足し算ができませんね」

言い換えてみましょう

マイナス表現⇒プラス表現

- 外遊びはとっても好きですけど、
みんなと遊ぶ、ルール遊びは
嫌いな子どもです。

⇒言い換えてみましょう

プラス表現を
すると焦点化・
明確化できる

12

2016/3/15

どこに焦点化していますか？

外遊びはとっても好きです
けど、
みんなと遊ぶ、
ルール遊びは
嫌いな子どもです。

①ルール遊びが嫌いな子ども
②まだ、ルール遊びのおもしろ
さに出会っていない
③どうしたら、どういふ働きかけ
をすれば、おもしろさに出会え
るのだろうか？
=保育の願い

①の「子ども」に
焦点化すると
子どもを変えようと
する。

②③の「遊び」に
焦点化すると、
働きかけや保育内容を
高めようとする。

保護者への対応

カウンセリング的面接

- ・ 受容 ・ 傾聴
- ・ 共感的理解 ・ 発達的理解

13

親の気持ち:「ほんとうは...」

- ・ 親
「うちの子みんなと一緒に遊んでいるんでしょうか。うちの子友だちがいるんでしょうか？」
- ・ なんと応えますか

①うちの子みんなと一緒にあそんでいるでしょうか
 ②うちの子友だちがいるんでしょうか
 ③うちの子みんなと同じですか？
 人並みですか？ついていってますか？
 ④仲間はずれになっていませんか。
 いじめられていませんか。
 ⑤子どものことが心配
 →実は、自分の中の不安
 →私自信がないんです。

14

2016/3/15

対等

・問題解決スキル
・対立解消スキル

誰との対等な関係が難しいですか？

- ・職場・家庭
- ・園児・保護者・職員(同僚・上司)
- ・夫・妻・その親・親・わが子

カウンセリングの4つの特徴
菅野純

1. 言葉や行動の背後にある気持ちを理解し、相手のニーズを的確に把握する
2. 言葉や行動に表れる心のつまづきや病を発見する
3. 人が回復や改善に向かって本当に行動できるように働きかける
4. 援助を受ける人と援助する人の間に生じるさまざまな問題を解明し対処する

15

カウンセリングを 子ども理解に活かす

1. 共感的理解
 - ・保護者や子どもに対して
「何だ！これ？」とあきれ果てたりせず
「そうせ(あら)ざるを得ない何かがあるんだろ
うなあ」と感じる姿勢
2. 発達の理解
 - ・子どもの問題や行動を発達の視点を考慮しな
がら見ていくこと

どこが問題か？ 親との関係が難しくなる時

1. 攻撃的・他罰的な場合
2. 要求過剰な場合
3. 思い込みが強く聞く耳を持たない場合
4. 心配し過ぎ、気にし過ぎる場合
5. 社会的に未熟な場合
6. 意思表示が少なく無口である場合
7. 積極的にかかわる姿勢がない場合
8. 精神的に病んでいると思われる場合

16

2016/3/15

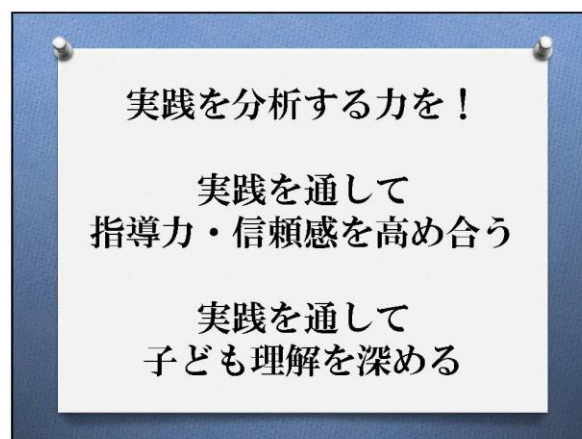
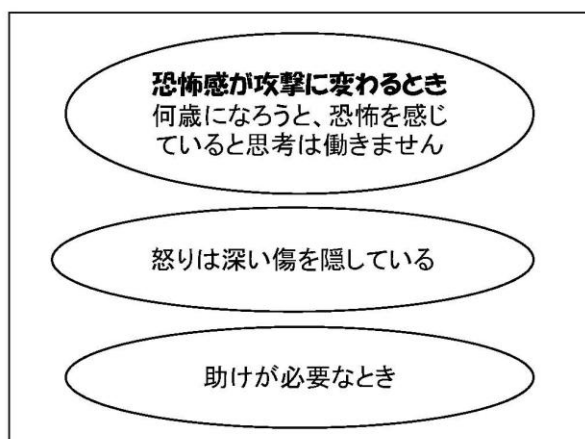
攻撃的で他罰的な場合：配慮・工夫

- 一方向的な批判で苦情や攻撃を向けてくる
- <理解>：ゆとりがない場合
経済的・時間的・精神的・身体的
- <配慮と工夫>：
 - ・ゆとりをもたらす
 - ・同レベルで戦わない
 - ・「そうふるまわざるを得ない何かがあるのだ」と理解する。相手の攻撃に振り回されない。
 - ・相手の言いたいことを確認しながら、丁寧にかつ積極的に耳を傾ける。

親とのカウンセリング的面接のコツ

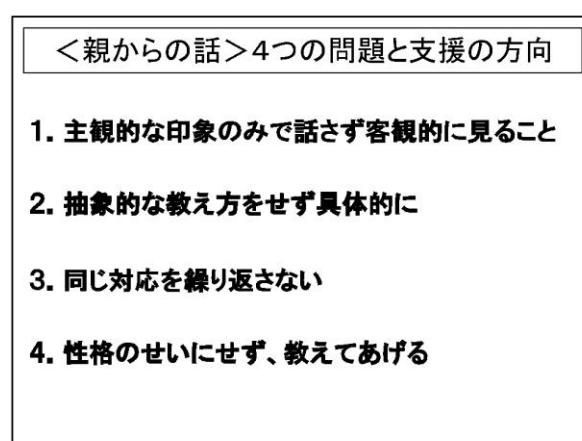
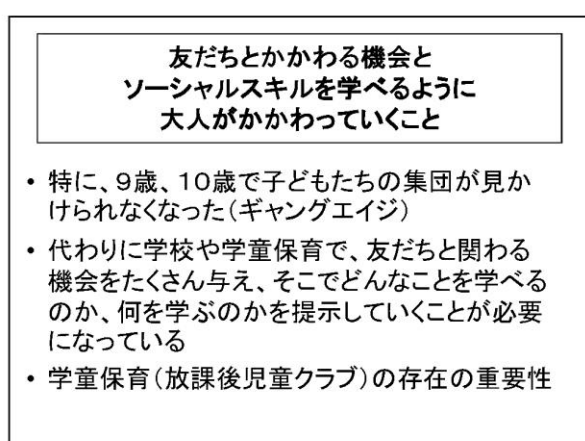
1. 面接目的を率直に伝える
2. つながる言葉かけ
3. こちらが複数の場合はあらかじめ告げておく
4. 親の雰囲気と合わせる
5. <傾聴><繰り返し><明確化><質問>のテクニック
6. 時間を区切って話し合う
7. 面接する場所を限定して
8. 「今日は来てよかった」と帰る面接を

17

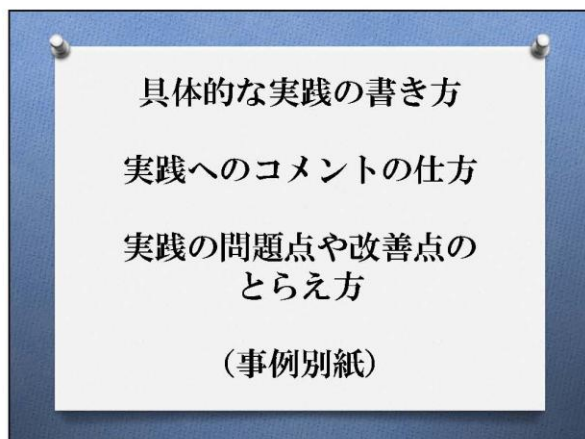


18

2016/3/15



19



●問い合わせ：FAX送信先

鹿児島県児童クラブ連絡協議会事務局（青葉児童クラブ内）

〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久 2105-1

TEL/FAX 0995-45-7800

ホームページ：<http://m-jidouclub.com/krijidouren-index.htm>



携帯サイトです。
ブックマークに登録を！